

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和5年 3月定例会	
議案番号 70 議案名	議案第 70 号 令和5年度松戸市一般会計予算修正案 議案第 70 号 令和5年度松戸市一般会計予算修正議決した部分を除く原案
議員名・会派名等	政策実現フォーラム・社民
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>予算委員会では令和5年度一般会計予算に対し、DELI 委員と戸張ともこ委員によりそれぞれ政策実現フォーラム・社民と立憲民主党の両会派を代表して修正案を提出しました。</p> <p>まず、第3款民生費第1項社会福祉費の第4目老人福祉費のうち高齢者社会参加促進事業シルバー人材センター運営費補助金については、今回パワハラ疑惑があり、市としては権限がない中で調査をし、副市長が理事長を注意したという事でしたので、なんらかの改善が必要だという認識があったという事でしたが、そういう場合に市としてどんな対応ができるのだろうか？補助金をそのまま交付していいのだろうか？という点が審査のポイントでした。今後は補助金の交付要綱にパワハラなどの問題があった場合、調査や指導などを行えるような記載を加えるなどの検討をしたいと言う事だったのですが、補助金の決定とりけしや減額をする事ができるような記載も加えるべきだと考えます。しっかりと再発防止につながるような対応をするべきだと言う事で、今回は警鐘を鳴らす意味で修正削除を提案しました。</p> <p>次に第8款土木費、第4項都市計画費第2目土地区画整理費のうち、土地区画整理関係業務の常磐線快速列車新松戸駅停車調査委託料については、質疑を通して、やはり計画的に進められていないのではないかとますます不安になりました。</p> <p>事業の完了の時期も土地区画整理事業の街びらきは、令和10年度を目指しているが、快速列車停車に関する駅舎等改良工事の施工期間は約10年という調査結果が示されてるので、現在のところ、完了時期は未定ですが、最短でも5年ほどの遅れは確定で、さらに10年、20年とかかかる可能性もあるんじゃないかと思うんです。これまでに平成29年から毎年毎年快速停車関連の調査が行われていますが、その成果物はみせてもらえないまま今回の調査を実施すれば増額1億円を超えるわけです。</p> <p>快速停車の為にホームを増設する必要があるれば当然用地買収は必要になると思われます。けれども駅改良に伴う用地の影響範囲すら現時点では示せないとの事でした。普通に考えたらこの用地取得が1番の課題になるんじゃないかと思うんですが、そこに手をつけない</p>

で、移動時間の変化や利便性の向上など鉄道事業に係る費用対効果を評価するための調査を新年度実施しても、用地取得に何年もかかったり、取得ができなければ、この調査は無駄になるんじゃないか？そもそも全体の事業費がわからないのにどうやって費用対効果を評価するのだろうか？などなど、事業の可否を判断するまでにあとどれだけ調査や費用、時間がかかるのかもみえないなかで、この調査が本当に新年度必要な調査とはとても思えませんでしたので、修正削除を提案しました。

最後に第 10 款教育費、第 5 項社会教育費、第 7 目博物館及び美術館費の美術文化関係事業のマイセン磁器展示関係経費 7423 万 5 千円については、松戸市にゆかりがないけれども、高価で価値のある美術品なら寄付をうけて展示するというのであれば、展示や維持管理にも多額の費用がかかるので、曖昧な基準で前例をつくるべきではないと思います。

質疑を通してイニシャルコストの総額は約 6700 万円で、ランニングコストは毎年約 1000 万円くらいかかるという事がわかりましたが、売却は考えていないという事でした。

レストランスペースでの展示についてもどうしても唐突に感じられてしまいます。

レストラン運営事業者撤退後に文化振興財団が募集・協議していたが、3年以上にわたり新規参入を希望する事業者がない事から、この場所では人を呼び込む事が難しいのでレストラン再開は無いと考えているとの事でした。であるならば、人を呼び込む事が難しい場所での展示は避けるべきだと思いますし、食事場所の確保というニーズを考えるとこの点においても市民から理解が得られるとは到底思えません。したがってこちらも修正削除を提案しました。

同時に大和山太郎委員他 3 名から「博物館及び美術館費の美術文化関係事業のマイセン磁器展示関係経費」のみを削除する修正案が提出され、2つの修正提案のうち、重複しない事業を、削除する提案が最初に採決され残念ながら賛成少数で否決すべきものとなりました。

その後、削除する提案が重複した事業「博物館及び美術館費の美術文化関係事業のマイセン磁器展示関係経費」について、採決され、賛成多数により可決すべきものとなりました。

このことにより、「博物館及び美術館費の美術文化関係事業のマイセン磁器展示関係経費 7423 万 5 千円」を削除するという「第 69 号令和 3 年度一般会計予算の修正案」が本会議に提出されました。

我々政策実現フォーラム・社民としては、「博物館及び美術館費の美術文化関係事業のマイセン磁器展示関係経費」以外の削除を提案

	<p>した2事業についても、内容や進め方に問題があると考えているところですが、予算原案の中には、新型コロナウイルス感染症の5類移行など法的な位置づけが変わる中で、まだまだ感染力や免疫をすり抜ける力が高いと報告されている変異株が増加している状況を考えると、引き続き大変重要な感染症対策などをはじめ市民の安全安心に係る予算も多く含まれているため会派としては大変悩みましたが、総合的に判断して賛成とさせていただきます。</p>
--	--